

二字漢語における語と漢字の意味の結びつきの特徴

—国語辞典の語義の説明文を利用した調査—

本多 由美子 (一橋大学大学院言語社会研究科) ¹

Features of Meaning-Kanji Association in Two-character Sino-Japanese Words: Survey of Dictionary Texts

Yumiko Honda (Hitotsubashi University Graduate School of Language and Society)

要旨

漢字二字から成る漢語（以下、二字漢語）とその漢語を構成する各漢字の意味の結びつきについて、BCCWJの高頻度語を対象に分析を行った。漢語と1字ごとの漢字の意味の結びつきに注目し、「語と漢字の意味が2字とも結びつく語」、「2字とも結びつきにくい語」、「1字のみ結びつく語」に3分類し分析した。その結果、高頻度語を頻度順にグループ分けすると、最上位100語以外では、3分類の割合はほぼ一定であることが明らかになった。また、語と漢字の結びつきは、1字目と2字目の漢字では、品詞による違いがあり、語構成との関係が示唆された。

本調査では結びつきを判断する際、国語辞典の語義の説明文を用いた。この結果を、日本入大学生を対象にした調査結果（桑原（2013））の透明度の数値と比較したところ、結びつきについて同様の傾向が見られた。

1. はじめに

漢字はそれぞれの字が意味をもち、また、漢字が組み合わさった熟語は語としての意味を持つ。二字漢語には、漢字2字とも語の意味と結びつく語、2字とも結びつきにくい語、2字のうち1字は結びつくが1字は結びつきにくい語がある（表1）。

表1 語と漢字の意味の結びつき 「国外」「人口」「条件」

二字漢語	国語辞典の説明文	1字目の漢字		2字目の漢字		二字漢語と漢字の結びつき
		説明との一致部分	語との結びつき	説明との一致部分	語との結びつき	
国外	国のそと。	国	結びつく	そと	結びつく	2字とも結びつく
人口	人の数。	人	結びつく	なし	結びつきにくい	1字のみ結びつく
条件	物事を決定したり約束したりするときに、前提あるいは制約となる事柄。	なし	結びつきにくい	なし	結びつきにくい	2字とも結びつきにくい

母語話者や漢字に慣れた日本語学習者は、よく目にする語であれば、1字ごとの漢字の意味を考えることなく、語の意味を思い浮かべることができるだろう。また、語の語源や漢字

¹ nihonda@hotmail.com

の字義に関する知識が豊富であれば、意味が結びつく語もある。しかし、現代において一般的に使われている語や漢字の意味で漢語を捉えた場合には、結びつくものと結びつきにくいものがあるのではないだろうか。

そこで、本研究では、よく目にする漢語について、語と漢字の意味の結びつきという視点から、どのような傾向や特徴が見られるかを調査し考察することにした。

語と漢字の意味の結びつきは、日本語教育でも活用できる可能性がある。筆者自身、非漢字圏の初級学習者から「親切」の漢字表記は、その学習者が知っている漢字の1字ごとの意味では、語の意味と結びつかないと言われた経験がある。語や漢字の知識が十分でない学習者は、日々、学んだことのない漢語を目にする。中には、知っている漢字の組み合わせでも語としては初めて見るものもあるだろう。日本語学習者への教育を考える際に、語と漢字の意味の結びつきは、利用できる情報の一つであると考えられる。

2. 先行研究

国語教育の観点から漢語と漢字の意味の結びつきについて述べられているものに宮島(1968)がある。宮島(1968)では、漢語には、1字ごとの漢字の意味が語の意味と結びつく語と1字ごとに分解しても語の意味に結びつかない語があること、また、それらの語の特徴によって、1字ごとに分解する方法や2字まとめる方法など、教え方を変える必要があることが指摘されている。漢字を音訓漢字や字音漢字などの機能から分類したものに森岡(2004)がある。森岡(2004)では、JIS漢字表の各漢字について、現代語の和語や漢語を表記する際に用いられているか否かによって漢字が分類されている。語構成の観点から二字漢語を漢字二字の結合パターンによって分類したものに野村(1988)、張(2014)がある。

3. 本研究の目的とリサーチクエスチョン

本研究の目的は、二字漢語と漢字の意味の結びつきについて、よく目にする語の傾向や特徴を明らかにすることとする。語の特徴、漢字の特徴、結びつき方の特徴について考察するために、以下のリサーチクエスチョン(以下、RQ)を立てた。

二字漢語を、語とその語を構成する漢字の意味の結びつきにより、「語と漢字の意味が2字とも結びつく語」、「1字のみ結びつく語」、「2字とも結びつきにくい語」に分類した場合

RQ1. 語の頻度により、結びつき方に違いがあるか。

RQ2. 語の品詞により、結びつき方に違いがあるか。

RQ3. 語を構成する漢字について、1字目、2字目の漢字の結びつき方に違いがあるか。

4. 調査

4. 1 調査方法の検討

本調査では、語の意味については、国語辞典の語義の説明文を用いることにした。国語辞典の語義の説明は、漢字を説明するために書かれているものではないと思われるが、語と漢字の意味に結びつきがあれば、ある程度語義の説明に表れるのではないかと考えたからである。当初、筆者は周りの日本語母語話者数名に聞きながら、読み下し文をつけるを試みたが、語と漢字の意味の結びつきの判断には個人差があり、客観性に欠けると判断した。

国語辞典の語義は、辞典によって説明の仕方が偏る可能性があるため、複数の辞典の語義の説明を用いることにした。辞典については4. 5. 3で述べる。以下、調査に用いる国語辞典の語義の説明文を「国語辞典説明文」と呼ぶ。

本調査の辞典を用いて結びつきを調べる方法については、桑原（2013）が日本人大学生を対象に調査した「熟語の意味の『透明性』」の数値と比較をした。桑原（2013）が調査対象とした語について、本調査と同じ手順で結びつきを調べたところ、結びつきについて「透明性」の数値と、本調査の3種類の分類の傾向に類似が見られた。詳細は6で述べる。

4. 2 語と漢字の意味の結びつきの分類

本調査では、語と漢字の意味の結びつきを、二字漢語を構成する各漢字ごとに判断して分類する。以下、二字漢語の1字目の漢字を「前漢字」、2字目の漢字を「後漢字」とよぶ。

表 4.1 は「国外」、「提出」と「精神」の例である。「国外」の国語辞典説明文は「国のそと。」である。二字漢語の前漢字である「国」は国語辞典説明文に書かれている。したがって、「国」という漢字と「国外」という漢語は意味が「結びつく」と判断する。後漢字の「外」は国語辞典説明文に「そと」と書かれているので、「外」という漢字と「国外」という漢語は意味が「結びつく」と判断する。1字ずつの漢字と語の結びつきは「結びつく」、「結びつきにくい」の2種類である。同様に見ると、「提出」は後漢字のみ結びつく。

これらの前漢字の結びつき、後漢字の結びつきを2字組み合わせ、二字漢語における語と漢字の意味の結びつきを判断する。前漢字、後漢字の2字とも漢字と語が結びつく場合、二字漢語における語と漢字2字の意味の結びつきを「2字とも結びつく」とした。どちらの漢字も語と結びつきにくければ、「2字とも結びつきにくい」、1字のみ結びつく場合は、語と漢字2字の意味の結びつきを「1字のみ結びつく」とした。

語と各漢字の意味の結びつき

二字漢語における語と漢字の意味の結びつき

- ・2字とも、語と漢字が結びつく → 「2字とも結びつく」
- ・2字とも、語と漢字が結びつきにくい → 「2字とも結びつきにくい」
- ・どちらか1字のみ、語と漢字が結びつく → 「1字のみ結びつく」

表 4.1 語と漢字の意味の結びつきの例1「国外」「提出」「精神」

二字漢語	国語辞典説明文『大辞林』より	前漢字		後漢字		二字漢語と漢字の結びつき
		説明との一致部分	語との結びつき	説明との一致部分	語との結びつき	
国外	国のそと。	国	結びつく	そと	結びつく	2字とも結びつく
提出	文書などをしかるべきところに差し出すこと。	なし	結びつきにくい	(差し出す)	結びつく	1字のみ結びつく
精神	人間の心。	なし	結びつきにくい	なし	結びつきにくい	2字とも結びつきにくい

4. 3 語と漢字の意味が「結びつく」ときのパターン

語と各漢字が結びつくと判断するのは、大きく分けて3パターンである(表 4.1、表 4.2)。

1. 構成する漢字の訓読みが国語辞典説明文に書かれている場合

例)「国外」と「国」、「外(そと)」、「提出」と「出(出す)」、「入院」と「入(はいる)」、「購入」と「入(入れる)」、「重視」と「重(重く)」

2. 構成する漢字を使った漢語が国語辞典説明文に書かれている場合 (1 字漢語を含む)
例) 「入院」と「院 (病院)」

3. 国語辞典説明文には直接書かれていないが、漢字の意味が結びつく場合

例) 「購入」と「購 (買う)」、「重視」と「視 (見る)」、「最高」と「最 (いちばん)」

3.に当てはまる漢字は、主に常用漢字表では訓読みがない漢字 (例: 視、購) である。常用漢字表については、4. 6で述べる。その他、「最高」の「最」の訓読みには「もっとも」がある。「一番」は「もっとも」を簡単に言い換えた言葉と考え、語と意味が「結びつく」と考える。

表 4.2 語と漢字の意味の結びつきの例 2 「入院」「重視」「購入」「最高」

二字漢語	国語辞典説明文 『大辞林』より	前漢字		後漢字		二字漢語と漢字の 結びつき
		説明との 一致部分	語との結 びつき	説明との 一致部分	語との結 びつき	
入院	治療のために, ある期間 病院にはいること。	はいる	結びつく	病院	結びつく	2 字とも結びつく
重視	重く見ること。	重く	結びつく	見る	結びつく	2 字とも結びつく
購入	買い入れること。	買い	結びつく	入れる	結びつく	2 字とも結びつく
最高	高さが一番高いこと。	一番	結びつく	高い	結びつく	2 字とも結びつく

4. 4 調査方法

まず、調査方法について述べる。調査対象の語や辞典などについての詳細は次項で述べる。

1. 調査対象の語について、3 冊の辞典からそれぞれ説明文を 1 文取りだし、語義がそろっているか目視で確認する。
2. 前漢字について、1.の説明文と漢字が一致している部分を抜き出す。漢字の一致する部分を含む数文字を検索、抽出し、目視で一致部分を確認する。辞典 3 冊のうち 1 冊以上に 4. 3 で述べた結びつきが見られれば、語義の説明文には、その漢字の意味が含まれており、語と漢字の意味が結びついていると判断する。
3. 上記 2.で 3 冊の辞典いずれにも結びつきが見られなかった語と漢字について、漢字辞典の字義を用いて、字義が一致するかどうかを確認する。4. 3 のパターン 3 の「国語辞典説明文」の「一番」を「最も」で言い換えたように、字義の言い換えも確認する。
4. 上記 2 と 3 の結果を合わせて、語と前漢字の意味の結びつきを判断する。辞典 3 冊のうち 1 冊以上に結びつきが見られれば、語と漢字の意味が結びついていると判断する。
5. 後漢字についても、2~4 を同様に行う。
6. 前漢字と後漢字の漢字の結びつきを合わせ、二字漢語と漢字の意味の結びつきを、4. 2 に従って「2 字とも結びつく」「2 字とも結びつきにくい」「1 字のみ結びつく」に分類する。

4. 5 データ

4. 5. 1 調査対象とする漢字

漢字の表記は、常用漢字表の範囲とした。訓読みも常用漢字表を範囲とした。新聞など一般的な表記の目安にされているためである。

4. 5. 2 調査対象の語

国立国語研究所『現代日本語書き言葉均衡コーパス』語彙表²⁾の「短単位語彙表データ」(以下、BCCWJ 語彙表)から、語種が漢語である語を高頻度順に並べ、上位 1000 位までを対象とした。ここから、以下の語は調査対象から除外したため、調査対象の語数は 958 語となった。調査対象から除外した語 42 語は、数詞 18 語(三十、二千など)、語彙素で示された漢字での表記の割合が少ない語³⁾ 8 語(箇月、所為など)、調査に用いた 3 冊の辞典のうち、1 冊以上に見出し語がなかった語 15 語(男女、前年など)、常用漢字表外の漢字を含む語 1 語(勿論)である。3 冊の辞典については、次項で述べる。調査対象の語 958 語で使用されている漢字は、延べ字数 1916 字、異なり字数 743 字である。前漢字は延べ字数 958 字、異なり字数 493 字、後漢字は延べ字数 958 字、異なり字数 482 字である。また、前漢字と後漢字で重複する漢字は延べ字数 1093 字、異なり字数 232 字である。

4. 5. 3 語義の説明文

本調査では、国語辞典の語義の説明文を利用した。国語辞典の語義の説明文を使用したのは、4. 1 で述べたように、客観性が保てると思ったからである。しかし、国語辞典 1 冊では、説明に偏りがあると考え、3 冊の辞典を使用した。『大辞林第三版』(三省堂、以下、『大辞林』)、『岩波国語辞典第七版新版』(岩波書店、以下、『岩波』)、『チャレンジ小学漢字辞典第五版コンパクト版』(ベネッセ、以下、『チャレンジ』)である。3 冊は『大辞林』が中型辞典、『岩波』が小型辞典、『チャレンジ』が小学生向けであり、出版社とタイプが異なる辞典であるため、語義の説明の偏りを減らせるのではないかと考えた。

語義の説明の仕方は、辞典によって、様々である。そのため、辞典の語義の説明から取り出す文(「国語辞典説明文」)は原則として、1 文とした。文がなければ、句、語を用いた。文が複数書かれている場合は、1 文目の説明が中心的な意味に近いと判断し、原則として、最初に書かれている文をとるようにした。

4. 5. 4 品詞、複数の語義、複数の字義の扱い

品詞は、BCCWJ 語彙表の品詞情報に合わせた。語義が複数ある語については、項目番号が小さい、つまり最初のほうに載っている意味がより一般的な意味に近い⁴⁾と判断し、原則として項目番号が「1」の語義を用いた。同じ語でも辞典によって、語義の順番が異なる場合がある。その場合は、原則として、3 冊のうち 2 冊が同じ語義であれば、その語義を用い、3 冊とも異なる場合は、原則として『岩波』の語義を用いた。このように、多義語について

²⁾ 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』語彙表 (http://pj.ninjal.ac.jp/corpus_center/bccwj/freq-list.html)

³⁾ 語彙素の漢字での表記が少ない語 (8 語)

下記の語は「BCCWJ 中納言」の原文文字列のデータにおいて語彙素での表記の割合が 20%未満であったため、調査の対象から除外した。() 内は語彙素での表記の割合である。「箇月 (0.7%)」、「所為 (1.4%)」、「奇麗 (1.7%)」、「御免 (5.7%)」、「丁度 (10.9%)」、「一杯 (副詞、11.1%)」、「沢山 (副詞、16.7%)」、「沢山 (形状詞一般、16.9%)」語彙素以外での表記とは、例えば、「一杯 (副詞)」の場合は、「いっぱい」、「イッパイ」、「一ぱい」、「丁度」の場合は、「ちょうど」、「恰度」、「丁ど」など、ひらがな、カタカナ、漢字とひらがなが混ざったもの、語彙素の表記以外の漢字を使用したものがあつた。「奇麗」は、「綺麗」が 28.7%であつた。「綺」は常用漢字ではないため調査対象外とした。

⁴⁾ 「大辞林第三版」web 版の凡例に以下の記述がある。

「1. 語義解説現代語(1) 意味の記述順序は次のようにした。(ア) 現代語として用いられている意味・用法を先にし、古語としての意味・用法をあとに記述した。(イ) 現代語は一般的な語義を先にし、特殊な語義や専門的な語義をあとに記述した。

(<http://www.excite.co.jp/dictionary/japanese/?menu=true>)

は、語義を1つに決めて調査をした。

「4. 4 調査方法 3」での漢字の字義は、漢字辞典『例解学習漢字辞典』(小学館)の字義の説明を使った。字義が複数ある場合は、原則として項目番号が「1」の字義を用いた。

5. 結果と考察

5. 1 語全体の傾向

二字漢語と漢字の意味の結びつきについて、調査対象語(以下、BCCWJ高頻度語)全体の割合を表5.1に示す。「2字とも結びつく」と「1字のみ結びつく」がそれぞれ約40%、「2字とも結びつきにくい」が約20%である。

表 5.1 BCCWJ 高頻度語 (958 語) における結びつき (全体)

	2字とも結びつく	1字のみ結びつく	2字とも結びつきにくい	計
語数(%)	396(41.3%)	380(39.7%)	182(19.0%)	958

5. 2 頻度の傾向

頻度順上位から100語ごとの結びつきの割合を図5.1に示す。1-100の語(以下、最上位100語)においては、「1字のみ結びつく」語の割合がやや高い。101から900までの100語ごとの結びつきの割合は、全体の割合とほぼ同様の傾向を示している。このことから、本調査の範囲では、最上位100語を除くと、頻度と結びつき方には、大きな違いはないと思われる。901-958の58語は、語数が少ないため、考察の対象としない。

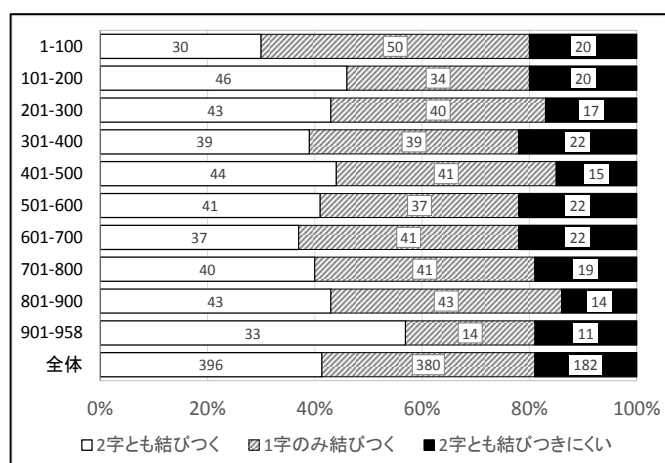


図 5.1 BCCWJ 高頻度語における結びつき (100 語ごと)

5. 3 品詞の傾向

次に、品詞別の結びつきについて、全体の結びつきを表5.2に示す。全体の語数に占める割合が高い「名詞-普通名詞-一般」と「名詞-普通名詞-サ変可能」における結びつきは、全体の割合とほぼ同様の傾向を示している。「2字とも結びつく」、「1字のみ結びつく」の割合は、いずれも40%程度、「2字とも結びつきにくい」が20%程度である。

副詞は、語数が少ないが、「2字とも結びつく」の割合が低く、「2字とも結びつきにくい」の割合が高い。副詞13語の語と漢字の結びつきは以下の通りである。

- ・2字とも結びつく (1語) 是非

- ・1字のみ結びつく (3語) 直接、全然、当然
- ・2字とも結びつきにくい (9語) 結構、多分、突然、十分、大変、一層、一体、一番、随分

「是非」は「是が非でも。『岩波』」という説明文から結びつくに分類した。これらの語は、意味が語源から次第に離れてきた語であると思われる。これらの語がひらがなで表記されることもあるのは、漢字に語の意味が表れていないため、ひらがなで表記したほうが意味を適切に表すことができるという意識が働いているからではないだろうか。上記以外に、4. 5. 2で調査対象の語を取り出すとき、語彙素での表記の割合が低い9語を対象外としたが、その語の中に、「一杯」や「沢山」などの副詞が含まれている。

また、「2字とも結びつく」語の割合が比較的高い品詞に「名詞-普通名詞-副詞可能」がある。BCCWJ高頻度語の範囲では、この品詞には時間の関係や量の関係を表す語が多い。

- ・2字とも結びつく語の例 以後、今後、午前、最初、以内、以下、多数

BCCWJ高頻度語の「名詞-普通名詞-副詞可能」では、語数と比べると異なり字数が少なく、「前」「後」「今」「多」「以」など、同じ漢字が複数回用いられている。これらの字は意味がはっきりしており、語の意味と結びつきやすいため、2字とも結びつく語の割合が高いと考えられる。

表 5.2 BCCWJ 高頻度語における結びつき (品詞別)

品詞	2字とも結びつく		1字のみ結びつく		2字とも結びつきにくい		計	
	語数	%	語数	%	語数	%	語数	%
名詞-普通名詞-一般	178	42.8%	163	39.2%	75	18.0%	416	43.4%
名詞-普通名詞-サ変可能	155	39.6%	158	40.4%	78	19.9%	391	40.8%
名詞-普通名詞-副詞可能	35	56.5%	20	32.3%	7	11.3%	62	6.5%
形状詞-一般	7	22.6%	19	61.3%	5	16.1%	31	3.2%
名詞-普通名詞-形状詞可能	11	42.3%	9	34.6%	6	23.1%	26	2.7%
副詞	1	7.7%	3	23.1%	9	69.2%	13	1.4%
名詞-普通名詞-サ変形状詞可能	5	38.5%	6	46.2%	2	15.4%	13	1.4%
名詞-普通名詞-助数詞可能	3	75.0%	1	25.0%	0	0.0%	4	0.4%
接続詞	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
接尾辞-名詞的-一般	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1	0.1%
全体	396	41.3%	380	39.7%	182	19.0%	958	100.0%

5. 4 「1字のみ結びつく」における前漢字と後漢字 (品詞別)

結びつきが前漢字に見られるか後漢字に見られるかを見るために、表 5.3 で表 5.2 の「1字のみ結びつく」について、前漢字と後漢字に分けて結びつきを示す。

「名詞-普通名詞-サ変可能」は後漢字のみ結びつく語が多い。さらに「名詞-普通名詞-サ変可能」158語について、張 (2014) の語構成⁵をもとに分類すると、後漢字のみ結びつく (前漢字は結びつきにくい) 語において、前漢字も後漢字も動態類である語の割合が高い (表 5.4)。語を見ると、後漢字に比較的基本的な漢字が使われており、前漢字の意味が明確にわからなくても、何となく語の意味がわかると思われる語が少なくない。詳細な分析は今後の課題としたい。

- ・後漢字のみ結びつく語の例 参加、追加、提出、輸出、輸入、通知、参考、放送、輸送

⁵ 張 (2014) は、二字漢語動詞を漢字部分の構成要素の品詞性と構成要素間の関係に従って、AV型、VN型、VV型、MV型、接辞型に分類している (A=様相類、V=動態類、M=副用類、N=事物類)。

表 5.3 「1字のみ結びつく語」における前漢字の結びつきと後漢字の結びつき

品詞	1字のみ結びつく(語数)	
	前漢字のみ結びつく	後漢字のみ結びつく
名詞-普通名詞-一般	98	65
名詞-普通名詞-サ変可能	60	98
名詞-普通名詞-副詞可能	9	11
形状詞-一般	11	8
名詞-普通名詞-形状詞可能	4	5
副詞	2	1
名詞-普通名詞-サ変形状詞可能	2	4
名詞-普通名詞-助数詞可能	0	1
接続詞	0	0
接尾辞-名詞的-一般	1	0
計	187	193

表 5.4 「名詞-普通名詞-サ変可能」の語構成の型(張(2014)より)

「名詞-普通名詞-サ変可能」の型(張(2014))	前漢字のみ結びつく		後漢字のみ結びつく	
	語数	%	語数	%
VV型(動態類の組み合わせ)	40	66.7%	77	78.6%
VN型(動態類・事物類の組み合わせ)	10	16.7%	12	12.2%
その他	10	16.6%	10	10.2%
計	60	100.0%	98	100.0%

6. 日本人大学生を対象とした調査との比較

4.の調査では、二字漢語の語と構成要素である各漢字の意味の結びつきについて、辞典の語義の説明文を用いて調べた。この方法を桑原(2013)の結果を用いて、日本人大学生を対象にした意味の結びつきについての調査結果と比較した。

6. 1 桑原(2013)の調査

桑原(2013)は、2字の漢字から成る熟語について、「熟語を構成する個々の漢字が熟語の意味とどの程度容易に結びつけられるかを示す指標を、熟語の意味の「透明性」(transparency)」とし、500語について、日本人大学生51名を対象に調査を行い、透明性を数値化した。この調査は「非漢字系学習者の漢字指導に有用なデータ(桑原(2013))」を得るためのものであり、調査対象語の500語は桑原が日本語学習者に対する意味の推測過程の調査で用いた語と、語構成や頻度調査の先行研究の中から抽出した語である。

桑原(2013)の調査では、日本人大学生に語のみを提示し、語と漢字の意味の結びつけやすさを5段階の尺度評定によって、「1(まったく結びつかない)」から「5(非常に結びつけやすい)」まで、調査票を用い調査した。調査後、調査協力者が回答した5段階の数字を平均して、透明性を表す数値「透明度」としている。この調査に際し、桑原(2013)は被調査者に対して、調査の目的が漢字2字熟語と各漢字の意味の結びつけやすさを測ることを伝える、「登山」と「皮肉」を例に出して説明している⁶。

桑原(2013)は語を提示し、漢字2字を合わせて語の意味と結びつけられるかを質問している。漢字の表す意味は質問していない。また辞書を見ないで答えるよう指示している。

4.で行った本研究の調査では、漢字ごとに別々に結びつきをみた点、語義の説明に書か

⁶ 具体的な文面は以下の通りである。

「この調査は、漢字2字熟語を構成する漢字のそれぞれの意味と、その漢字熟語の意味とがどのぐらい容易に結びつけられるかを調べることを目的としています。たとえば、「登山」は「登」と「山」の2つの漢字からできています。「登」と「山」のそれぞれの意味の組み合わせと、「登山」登山の意味は非常に結びつけやすいのではないのでしょうか。それに対して、「皮肉」は、「皮」と「肉」からできていますが、「皮」と「肉」のそれぞれの意味の組み合わせと、「皮肉」の意味は結び付けにくいでしょう。

(中略)それぞれの漢字熟語の意味について、その熟語を構成する漢字の意味と「まったく結びつかない」と思ったら「1」、「非常に結びつけやすい」と思ったら「5」として、1から5までの間で適当な数字に○をつけてください。(下線は桑原による)

れている説明文そのものを、結びつきを判断する際の元のデータにしているという点で、見方や方法に違いがある。しかし、語と漢字の結びつきをみるという点では、目的が重なっており、それを異なる方法で調査したものだと考え、比較を行った。なお、桑原（2013）を比較の対象としたのは、目的が重なっており、被験者数と調査した語数が多く、傾向を比較しやすいと考えたからである。

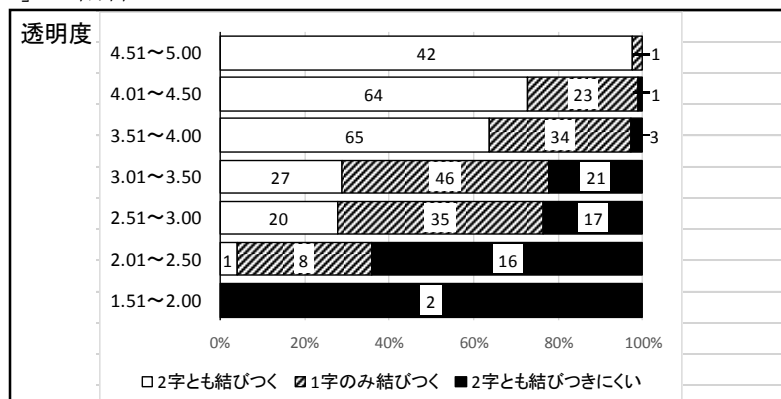
6. 2 比較方法

桑原（2013）が調査を行った 500 語について、「茶まめ（unidic-mecab 2.1.2 使用）」で語種を調べたところ、漢語は 453 語であった。そのうち、『大辞林』『岩波』『チャレンジ』の中の 1 冊以上に見出し語として掲載されていなかった語が 26 語（院生、社風、破断、病欠、連泊など）、常用漢字表外の漢字を含む語が 1 語（綺麗）あり、これら 27 語は比較調査の対象外とし、426 語を用いて、比較調査を行った。この 426 語のうち、本調査で調査対象とした BCCWJ 高頻度語に含まれる語は 166 語であった。それ以外の 260 語については、4.で行った調査と同じ手順で語と漢字の結びつきを調べた。

6. 3 比較結果

図 6、表 6 は、比較の結果である。桑原（2013）の調査は、1 が「まったく結びつかない」、5 が「非常に結びつけやすい」の 5 段階尺度である。透明度の数値を 0.5 ごとの範囲で区切り、その範囲に含まれる漢語について、4.で行った調査方法による結びつきの割合を示した。

図 6 桑原（2013）の透明度における「2 字とも結びつく」「1 字のみ結びつく」「2 字とも結びつきにくい」の割合



透明度	2字とも結びつく	1字のみ結びつく	2字とも結びつきにくい	計
4.51~5.00	42	1	0	43
4.01~4.50	64	23	1	88
3.51~4.00	65	34	3	102
3.01~3.50	27	46	21	94
2.51~3.00	20	35	17	72
2.01~2.50	1	8	16	25
1.51~2.00	0	0	2	2
1.00~1.50	0	0	0	0
計	219	147	60	426

表 6 桑原（2013）の透明度における「2 字とも結びつく」「1 字のみ結びつく」「2 字とも結びつきにくい」の割合

このグラフを見ると、桑原 (2013) の調査では、透明度が高い語には、本研究の調査でも「2字とも結びつく」に分類される語の割合が高いこと、数値が低くなるにしたがって、「2字とも結びつく」の割合が減り、「1字のみ結びつく」と「2字とも結びつきにくい」の割合が増え、2.50以下の範囲で、「1字のみ結びつく」と「2字とも結びつきにくい」の割合が逆転するという傾向があることがわかる。

このように、漢語と漢字の意味の結びつきを見る方法として、桑原 (2013) の日本人大学生への調査結果から透明度を数値化する方法と、本調査で行った辞典を用いて語と漢字の結びつきを分類する方法とで、結果を比較すると、傾向に類似が見られると思われる。

7. まとめ、今後の課題

二字漢語と漢字の意味の結びつきについて、BCCWJの高頻度語を対象に分析を行った。本調査では、辞典の語義の説明文を用いて結びつきを判断し、分類したが、日本人大学生を対象にした調査結果 (桑原 (2013)) と、同様の傾向が見られることがわかった。

二字漢語と漢字の結びつきについては、以下の特徴が見られた。

- (1) BCCWJ高頻度語の範囲において「語と漢字の意味が2字とも結びつく語」、「1字のみ結びつく語」、「2字とも結びつきにくい語」の3分類の割合は約2:2:1の割合であった。
- (2) 語の頻度については、高頻度語を頻度順にグループ分けすると、最上位100語以外では、3分類の割合はほぼ一定であった。
- (3) 品詞による違いは、「副詞」と「名詞・普通名詞・副詞可能」について結びつきに特徴が見られた。
- (4) 全体における語数の割合が高い「名詞・普通名詞一般」と「名詞・普通名詞-サ変可能」は語の3分類の割合は全体の割合とほぼ同様であるが、前漢字と後漢字に分けて結びつきを見ると、結びつきに違いがあることがわかった。特に「名詞・普通名詞-サ変可能」は語構成との関係が示唆された。

今後は、(4)の点から、前漢字と後漢字に分けた結びつきについての詳細な分析を行う。語の意味分野による結びつき方の違いや、1字ごとの漢字に注目した分析も今後の課題である。また、本研究の日本語教育への活用も模索していきたい。

文献

- 桑原陽子 (2013) 「漢字2字熟語の意味の透明性の調査」, 『福井大学留学生センター紀要』, 8, pp. 1-13.
- 張志剛 (2014) 『現代日本語の二字漢語動詞の自他』くろしお出版.
- 野村雅昭 (1988) 「二字漢語の構造」, 『日本語学』7:5, 44-55.
- 宮島達夫 (1968) 『単語指導ノート』, むぎ書房.
- 森岡健二 (2004) 「現代の漢字調査」, 『日本語と漢字』第4部, 明治書院, pp. 221-287.

調査資料

- 『岩波国語辞典第七版新版』, 岩波書店 (LogoVista 電子辞典シリーズ)
- 『大辞林第三版』, 三省堂 (電子版、検索エンジン「excite 辞書」より取得
<http://www.excite.co.jp/dictionary/japanese/>)
- 『チャレンジ 小学漢字辞典 第五版』, ベネッセ.
- 『学習例解漢字辞典 第七版』, 小学館.